

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 18

プロフィール ともだ おさむ 友田 修 (57歳) 神奈川県より移住

JOIN移住・交流&地域おこしフェアに出展

「都市のストレスから解放されたい。」「田舎暮らしがしたいけど、ハードルが高い。」私が笠間市地域おこし協力隊になったと報告した際、友人たちがつぶやいていた言葉です。やっぱり「移住」となると一大決心ですね。移住を検討する際には、便利な施設の数や観光地情報なども重要ですが、決め手は、そこで生活する自分をリアルにイメージできるかどうかです。

そこで、1月18日(日)に開催された移住や交流を目的とした都内でのイベントに向けて、協力隊3人で笠間を舞台にした絵日記風のパネル展示「二地域居住のススメ」を考えました。笠間にセカンドハウスを手に入れた夫婦とシェア工房を手に入れた若者の2つのストーリーです。パネルに見入る方々は夢を語ります。地図や写真などで笠間を感じられるように制作したことで一歩踏み込んだ会話が生まれ、心の距離も笠間に近づいたものと思います。



笠間焼陶芸家とともに展示設営無事完成!!

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。笠間市では平成25年度より3名の隊員を受け入れました。



ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課(内線537)

フジフーズ株式会社水戸工場 笠間市押辺2741-8

キラリ! 社会人

がんばる企業応援連絡会

このコーナーは、市内の企業で働くフレッシュな社会人を紹介します。
今回紹介するのは、笠間市押辺にあるフジフーズ株式会社水戸工場で働く鈴木辰也さんです。〔笠間市在住・入社2年目〕

・どのような仕事を担当していますか
弊社は、大手コンビニエンスストア向けの、お弁当・おにぎり・調理パン・惣菜・焼きたてパンなど取り扱い商品のラインナップを充実し、常に惣菜業界のパイオニアとして活動してきました。水戸工場はお弁当・おにぎり一日平均十二万食を茨城県内約600店舗に出荷しています。私は生産管理を担当しています。

・職場の自慢
いばらき子育て応援宣言企業として人にやさしい会社です。

・この会社で良かったと思うことは
笠間市の会社という事で市内の従業員が多く、親近感があり仕事をしやすい環境にあることです。

・今後の目標は
美味しいお弁当・おにぎりを作ることで社会貢献したいです。



鈴木さん



業務の様子